

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	18HP2009	事業期間	平成30(2018)年度～ 令和4(2022)年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
国際誌トップ10%を実現する日本リーダー型戦略的情報発信による微粒子・機能材料分野の強化		一般社団法人 粉体工学会	代表理事・谷本 友秀
学術刊行物の名称			(略称)
Advanced Powder Technology			

【令和2(2020)年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
○ A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>中間評価報告書において、発行誌に対する新企画の提案等によるインパクトファクター(IF)の上昇、国内外からの投稿数の増加及び海外レフェリー率や査読登録者数の増加等が報告されている。これらは、情報発信および査読体制強化の取組による成果を裏付けるものであり、補助事業終了時には当初の計画が達成されるものと見込まれる。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症の影響等の状況に鑑み、国際学会などの実施形態が大きく変わらざるを得ない中での情報発信の方針、オンライン化に伴う冊子体の発行部数減少による編集体制、並びに本補助金の終了後の収支計画について現時点では明確になっていないように思われる。オープンアクセス化の補助やプロモーション活動の方針について早期の検討が必要と思われる。</p>	